

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山こどもの国	所管課	子育て支援課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和46年5月5日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立愛宕山こどもの国設置及び管理条例		
設置目的	児童の健康を増進し、かつ、情操を豊かにし、もって心身ともに健やかな児童の育成に寄与するためにこどもの国を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	1 自由広場 36,500㎡(ライオンの池、砂場、あずまや、管理棟) 2 変形自転車広場 2,000㎡(管理棟88㎡ トイレ) 3 芝生広場 4 キャンプ場 7,600㎡(テントサイト20区画、炊事場、倉庫、管理棟、雨天時食事場、トイレ) 5 テラス道、遊歩道、ゲーム水路、花の迷路、駐車場		
主な業務内容	キャンプ場の利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 児童の健全な育成のための催しの実施に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	甲府市及び近郊の都市公園
---------------------	--------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	施設利用者数	184,179	174,736	167,898	
	事業参加者数	92,721	75,585	37,607	
	利用者数合計	276,900	250,321	205,505	
	目標値	285,776	288,634	291,520	274,242
	目標値設定の考え方	平成22年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成23年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成24年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成23、24年度の実績平均の2%増を25年度目標値と再設定し、その2%増を目標値と設定している。
	対23年度比	100.0%	90.4%	74.2%	99.0%
稼働率		2.7%	5.2%	8.1%	

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	206,000	144,000	271,645	241,000
	指定管理者委託料	46,821,000	46,821,000	46,401,000	43,482,000
	その他	1,350,000	1,143,000	588,627	1,169,000
	収入合計(A)	48,377,000	48,108,000	47,261,272	44,892,000
支出	人件費	28,948,000	34,110,000	24,565,957	30,450,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	18,149,000	13,998,000	14,387,220	14,442,000
	(うち外部委託費)(B)	10,362,000	7,818,000	8,806,771	7,249,000
	支出合計(C)	47,097,000	48,108,000	38,953,177	44,892,000
収支差額(A - C)		1,280,000	0	8,308,095	0
外部委託比率(B ÷ C)		22.0%	16.3%	22.6%	16.1%
利用者一人当りの経費		187	161	226	159

5 利用者満足度

実施方法等	調査項目 実施時期:平成25年4月～26年3月、実施方法:利用者へのアンケート、回答数:830人
	調査項目 実施時期:平成25年4月～26年3月事業実施時、実施方法:事業参加者へのアンケート、回答数:288人

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設の状況	47.0%	9.6%	5.7%	37.6%
清掃状況	65.7%	14.5%	7.3%	12.5%
職員の対応	69.9%	11.7%	4.2%	14.2%
事業内容	91.3%	4.8%	1.2%	2.8%
各項目の平均	68.5%	10.2%	4.6%	16.8%

利用者の意見	今の子ども向けの遊び、遊具を増やしてほしい。 ライオンの池に滑り台がほしい。清潔にしてほしい。 遊具や芝のところに雑草が生え遊びづらい。 変形自転車広場までが遠い。専用駐車場がほしい。土日以外も利用したい。
利用者の意見への対応	新しい遊具の設置予定はないが、伝承遊びを中心に展開、自然の中の外遊びなども考えていく。 幼児用のパワーパドラーを運営しているのでそちらで楽しんでいただきたい。また、毎日の清掃、週1回の水抜き清掃など徹底していく。 自然に近い状態を維持する中で、雑草の多い時期を中心に、定期的に草刈りを行っている。 場所の移設や駐車場設置は不可能であるため、遊歩道を散策しながら来ていただきたい。 土日だけでなく、夏休み期間や冬・春休み期間も開放している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	定期的に巡回・点検を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。	計画どおり適正に業務執行されている。
運營業務	安全に、楽しく利用できるよう、事前打ち合わせを適切に行い、必要な指導・援助を行った。	計画どおり適正に業務執行されている。
自主事業		
利用状況	2月の記録的な大雪もあり、全体の利用者数は昨年度より減少したが、キャンプ場の整備や広報活動により家族での利用は増加している。	大雪での休園を考慮しても、利用者は昨年より減少している。 利用者ニーズを適切に把握し、それに合致した事業展開を図るとともに、新規利用者確保のための広報活動を強化すること。
収支状況	キャンプ場の整備や施設PRにも力を入れたため、キャンプ場の使用料が増加した。 経費を節約し施設修繕を行った。	経費の縮減を図り施設修繕を行うなど、支出の削減に努めている。
利用者満足度	総合的には、良い評価を得ている。施設・設備の老朽化に関することが多いが、定期的に点検・整備を行うことで利用者が快適に過ごし満足いただけるよう努力していく。	引き続き利用者の満足度向上に向けた取り組みを全職員に徹底させること。
運営目標の達成状況	運営目標は概ね達成している。 入園者数は、2月の記録的豪雪での休園等の影響はあるものの昨年度に比べ約17.9%減少し、目標値に対しては約70.5%となっており、利用者の増加に向けた取り組みを強化する必要がある。 主催事業は、目標を達成しており、参加者の満足度は概ね高い状況である。参加率の低い事業については、事業内容や実施時期、募集方法に工夫が必要である。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・主催事業について、業務計画書等に基づき適正に執行されている。 利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上を進めるとともに、利用者の増加に向けた取り組みを行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者アンケートや参加率などから既存の事業の見直しを行うことにより、より魅力ある施設となるよう取り組んでいる。 利用者の満足度の向上のため、業務計画書に沿った適正な管理に努めている。	

7 管理体制(組織図)



所長	1 人
課長	1 人
一般職員	3 人
契約職員	5 人
合計	10 人